

## 2020年度第1回阪神競馬特別レース名解説

### <第1日>

#### ○ うずしおステーキス

うずしおは、海水が渦を巻きながら激しく流れる現象。狭い地形で潮の干満の差が大きい場所で発生しやすい。鳴門海峡に発生する「鳴門の渦潮」が有名。

#### ○ マーガレットステーキス（L）

マーガレット（Marguerite）は、カナリア諸島原産のキク科の多年草。晩春から夏にかけて、一般に中央が黄色で周囲が白色の花をつける。花言葉は「心に秘めた恋」「貞節」。

#### ○ 仁川ステーキス（L）

仁川（にがわ）は、六甲山系に源を発し、武庫川に注ぐ川。また、阪急電鉄今津線の駅名にもなっており、阪神競馬場の最寄り駅である。

### <第2日>

#### ○ 伊丹ステーキス

伊丹（いたみ）は、兵庫県南東部の市。古くは、伊丹氏の城下町として発展し、江戸時代に入ると、酒造で全国的に知られるようになり、現在は大阪・神戸のベッドタウンとして位置づけられる。また、同市および大阪府豊中市・池田市にまたがる大阪国際空港は伊丹空港とも呼ばれ、関西の空の玄関口となっている。

#### ○ すみれステーキス（L）

すみれは、スミレ属の多年草。春に花柄を出し、濃紫色の花を横向きに咲かせる。名は、花の形が墨入れに似ていることに由来する。阪神競馬場がある兵庫県宝塚市の市花としても有名。花言葉は「誠実」「小さな愛」。

#### ○ 阪急杯（GⅢ）

本競走は、昭和32年に創設された『宝塚杯』を前身とする重賞競走。創設当初は、2200mで実施されていたが、35年に距離が1800mに短縮され、その際に現在の競走名に改称された。以降、幾度かの距離変更を経て平成18年より1400mで実施されている。なお、第1着馬には同年の高松宮記念への優先出走権が与えられる。

阪急電鉄株式会社は、大阪市北区に本社を置く鉄道会社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

## <第3日>

### ○ 摂津特別

摂津（せつ）は、旧国名で畿内5国のひとつ。現在の大阪府北西部と兵庫県南東部にあたる。また、大阪府中北部の市。化学・機械などの工業が盛ん。

### ○ 但馬ステーキス

但馬（たじま）は、山陰道に属する旧国名のひとつ。現在の兵庫県北部にあたる。ブランド和牛である但馬牛の生産地として有名。

### ○ チューリップ賞（GⅡ）（桜花賞トライアル）

本競走は、平成6年にオープン競走より格上げされた重賞競走。30年からGⅡ競走に格付けされている。桜花賞と同じ舞台で実施されることから、同競走を目指す3歳牝馬にとって重要な競走となっている。なお、第3着までの馬には桜花賞への優先出走権が与えられる。

チューリップ（Tulip）は、ユリ科の球根植物。園芸植物としての人気が高く、品種改良によってさまざまな色や形が存在する。茎が出て幅広い葉が数枚つき、4～5月頃に大きい花を1輪咲かせる。花言葉は「永遠の愛情」「愛の告白」。

## <第4日>

### ○ アルメリア賞

アルメリア（Armeria）は、イソマツ科の多年草。花壇や鉢植えなどで栽培する。花の色は桃・白・赤などで、3～4月に小球状の花をつける。名は、ケルト語で「海に近い」という意味で、和名で呼ばれるハマカンザシとともに海浜性植物であることを表している。花言葉は「思いやり」「心づかい」。

### ○ 播磨ステーキス

播磨（はりま）は、旧国名のひとつ。山陽道に属し、現在の兵庫県南西部にあたる。播州（ばんしゅう）とも呼ばれる。

### ○ 大阪城ステーキス（L）

大阪城（おおさかじょう）は、大阪府中央区にある城。豊臣秀吉が天正11年（1583）から3年をかけて築いたとされる。慶長20年（1615）の大坂夏の陣で落城し焼失したが、その後再建され、幕府の直轄地となり城代が置かれた。その後も数度の火災に見舞われたが、昭和6年に現在の天守閣が再建された。周辺は大阪城公園として整備され、大阪城ホールや梅林などがある。

## <第5日>

### ○ 阪神スプリングジャンプ（J・GⅡ）

本競走は、平成11年に創設された障害重賞競走。創設時は3800mで実施されたが、翌年より3900mに距離が延伸された。

スプリング（Spring）は、「春」を意味する英語。

### ○ ゆきやなぎ賞

ゆきやなぎは、バラ科の落葉低木。「雪柳」とも書く。春になると白色五弁の小花が枝上に並んで咲き、枝に雪が積もったように見える。花言葉は「愛嬌」「殊勝」。

### ○ 心斎橋ステーキス

心斎橋（しんさいばし）は、大阪府中央区の街。名は、長堀川を開削した岡田心斎に由来する。心斎橋筋商店街一帯には、百貨店や高級ブランド店などが立ち並び、大阪を代表する繁華街となっている。

### ○ ポラリスステーキス

ポラリス（Polaris）は、こぐま座のアルファ星で北極星。北極星は、地球の自転軸を北極側へと延線した線上付近に位置し、地球上からはほとんど動いていないように見える。そのため、天測航行の際には正確な測定をするための固定点として用いられる。

## <第6日>

### ○ 淡路特別

淡路（あわじ）は、旧国名のひとつ。現在の兵庫県淡路島を指す。淡路島は、瀬戸内海最大の島。明石海峡大橋で本州と、大鳴門橋で四国とそれぞれ連絡している。「古事記」「日本書紀」によると、日本で最初にできた島とされており、島内には国生み神話に縁のある場所が数多く存在する。

### ○ 甲南ステーキス

甲南（こうなん）は、六甲山南部の地域。六甲山を背景にした神戸市の山手で、一帯には高級住宅街が広がっている。

## ○ 報知杯フィリーズレビュー（GⅡ）（桜花賞トライアル）

本競走は、昭和 42 年に『阪神 4 歳牝馬特別（報知杯桜花賞トライアル）』の名称で創設された重賞競走。競走名は 2 度の改称を経て、平成 13 年より馬齢表記の変更に伴い現在の名称になった。なお、第 3 着までの馬には桜花賞への優先出走権が与えられる。

スポーツ報知は、報知新聞社より発行されているスポーツ紙。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

## <第 7 日>

### ○ さわらび賞

さわらびは、芽を出したばかりのワラビのこと。ワラビは、イノモトソウ科の多年生のシダ。草原など日当たりのよい所に生える。葉は羽状に裂け、羽片の裏面の縁に孢子囊群をつける。若葉は食用、根茎は砕いてでんぷんとする。

### ○ 夙川特別

夙川（しゅくがわ）は、兵庫県西宮市西部を流れる川。全長約 7 km。六甲山地東端の甲山（かぶとやま）付近に源を発して南流し、大阪湾に注ぐ。上流の甲陽園付近から川尻の海岸までは天井川となっており、中下流の河川敷は夙川公園として整備されている。河川敷沿いには桜並木が続いており、「日本さくら名所 100 選」に選定されている。

### ○ 尼崎ステーキス

尼崎（あまがさき）は、兵庫県南東部にある市。大正 5 年（1916）市制施行。古くから海上交通の要衝として栄え、源義経が船出した大物浦跡がある。漁民・海民が住む海に突き出た土地が地名の由来。明治 6 年（1873）の廃城令で取り残された尼崎城の天守が平成 30 年に再建され、31 年から一般公開されている。

## <第 8 日>

### ○ 川西特別

川西（かわにし）は、兵庫県の南東部の市。猪名川を隔てて大阪府の池田市と相対する阪神地区の衛星都市である。西は宝塚市、南は伊丹市とそれぞれ接している。果樹栽培や染色・皮革工業が盛ん。

### ○ ラジオ関西賞仲春特別

仲春（ちゅうしゅん）は、陰暦 2 月の異称。季語や時候の挨拶などに用いられる。ラジオ関西は、兵庫県神戸市に本社を置く放送局。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

## ○ 若葉ステークス（L）（皐月賞トライアル）

若葉（わかば）は、芽を出して間もない葉のこと。特に、初夏の木々のみずみずしい葉を言う。なお、第2着までの馬には皐月賞への優先出走権が与えられる。

## <第9日>

### ○ 須磨特別

須磨（すま）は、神戸市西部の区名。大阪湾に面する白砂青松の海岸で、古来より明石と並び称される景勝地。須磨関跡や須磨浦公園などが有名。平安時代末期に起きた一ノ谷の戦いの舞台でもある。

### ○ なにわステークス

なにわは、大阪市付近の古称。現在でも大阪市域を指して用いられ、特に上町台地の北部一帯を指す。仁徳天皇の難波高津宮や孝徳天皇の難波長柄豊碓宮（なにわのながらのとよさきのみや）など、皇居が造営された地として知られる。

また、浪速（なにわ）は大阪市中部の区名。繁華街「新世界」にある通天閣は、大阪のシンボルとして有名。

### ○ 阪神大賞典（GⅡ）

本競走は、昭和28年に創設された重賞競走。当初は2000mのハンデキャップ戦で実施されていた。31年に負担重量が別定に変更され、その後2度にわたる距離の延伸を経て、49年から現在の3000mとなった。また、62年から実施時期が12月初旬から大幅に繰り上げられ、現在の実施時期となった。なお、第1着馬には同年の天皇賞（春）への優先出走権が与えられる。